

初心者必見！！

メルマガ初心者

最初のハードル！！

まぐまぐの審査に

簡単に承認される方法

メールマガジンを発行するには、発行スタンドを決めなくては  
いけません。

まぐまぐ <http://www.mag2.com/>

melma <http://melma.com/>

独自配信

等が代表的です。

この他にも様々な配信スタンドがあるので、メリット、デメリットを  
考えて選ばれるといいと思います。

その中で自分なりに考え、まぐまぐを使う事に決めました。

メルマガをまぐまぐで発行する手順は、他のレポート等で確認できる  
と思うので、このレポートでは省略させていただきます。

と言うのは自分自身が一番知りたかったのが、どうすれば**一発で審査に通る**  
**のか**という事でしたので。

最近は発行承認の審査が通りずらいと良く聞きます。特にネットビジネス  
のカテゴリーは難しいらしいと聞いていたので・・・

このレポートは実際にどうやってまぐまぐの審査に通ったかを書いていきます。

具体的には

    気にいった人のメルマガを読んだ

    創刊号を読み、参考にした（創刊号を公開している場合）

    めるまが発行に関する無料レポートを読んだ

    まぐまぐの新着メールマガジンを参考にしてみる

といった事をしてみました。

ここで、特に良かったと思うのは、まぐまぐの新着メールマガジン

を見てみた事です。

過去の創刊号もかなり参考になりましたが、ここ何ヶ月で審査が難しくなったと言われていたので、新着メールマガジンの創刊号を参考にしてみると分かりやすいからです。

只、色々と見てみて参考にするのは良かったのですが、あまり見てばかりいると、色々迷ってばかりで前に進まなくなってしまうので、下書きを書いてみるのもいいでしょう。

実際に、頭がゴチャゴチャになりパンクしそうでした（爆）

一度、書いた後に、**時間を置いて冷静に見てみる**のはいいかもしれません。

どうしても書いている時は気付かない事が、後で見直してみると色々と発見します。

その後色々修正してみるのもいいですから

まぐまぐの禁止事項を参考にして実際に書いてみたのは、

## タイトル

他の発行者との違いに気がつけた。

## 自己紹介

あまり長くならない方がいいと思い、ほんの  
少しだけ入れました。

## 本文

出し惜しみはしない方がいいと思い、具体的に書きました。

それから、タイトルと関係する事も意識して書きました。

自分の考えを入れておくと独自性が出るでしょう。

## **編集後記**

入れない方が審査に通りやすいと言われてる人もみえますが、

軽く書いたところ、通りました。

## **発行者名、連絡先**

これは入れておいた方がいいです。

## **登録・解除のアドレス**

実際にまぐまぐにメールで確認した所、創刊号にはなくても

いいとの返事で審査に通過後に入れました。

審査の基準はなんといっても本文の内容の様な気がします。

ついつい審査と言う響きで肩に力が入ってしまう事も

ありましたが、リラックスして気分のいい時に考えたり、

書いてみた方がいいと思います。

どうしても書けない時には、一度、パソコンの電源を切って

コーヒを飲んだり、好きな事をしてから、やり直すのもいいと

思います。

最後に、まぐまぐの審査の基準というのが人によって色々と

解釈が違うと思います。

あくまでも、私が審査に通った体験を書いたので、これが、

全てではないかもしれません。

まぐまぐで今後、発行するのであれば、この審査を通過しなくて

はいけないので、このレポートが参考になればと思い書いてみました。

このレポートがまぐまぐの審査に通る事のきっかけになれば幸いです！

最後まで読んでいただいてありがとうございます

発行者            八木   隆男

メルマガ <http://www.mag2.com/m/0000214315.html>

ブログ <http://takawaku2.livedoor.biz/>